歌浦っ子だより（学校だより）

「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」

平成29年10月16日　　文責：校長　内野義和

後期開始

後期も全員元気に学習や運動に取り組んでいます。後期もご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、遅くなりましたが、後期始業式の様子をお知らせいたします。

１　後期行事の予定

子供たちと後期に予定されている大きな行事を確認しました。

10月　小学校体育大会（６年）　稲刈り（５年）
11月　市音楽発表会（３年・４年）　学習発表会　芋掘り
１月　書き初め会
３月　お別れ集会　卒業式

２　学校の教育目標

本校の教育目標は**「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」**です。

「やさしい心」の育成のため、３つの「あ」と返事・反応を呼びかけています。前期は特に「大きなあいさつ」「大きな返事」に取り組んできました。**後期は「大きなありがとう」「大きなあとかたづけ」「大きな反応」**に取り組むよう話をしました。「大きな」とは、相手に伝わるように、相手に届くように、相手が分かるように「大きな」という意味です。いくらありがとうと言っても相手に伝わらなければ意味がありません。あとかたづけをしてもあとかたづけをしたとわかるほどでないと意味がありません。反応も同じです。自分ではしたと思っても相手がわかるほどでないと伝わりません。日本の伝統、以心伝心も大事ですが、これからますますグローバル化は進んでいきます。相手に伝わる、相手に届く、相手がわかる「あいさつ」「ありがとう」「あとかたづけ」「返事」「反応」も重要となってきます。ご家庭でも折りに触れて見ていただき、声かけをしていただければありがたいです。

「夢かがやく」ため、「できた」をたくさん、いろいろと増やそうと呼びかけてきましたが、大方できてきたようです。**次の段階、「めあてをもつこと」「めあてに向かって努力すること」「夢をもつこと」「夢に向かって努力すること」**に取り組むよう話をしました。また、「できた」を生活にいかしたり、表現したりするようにも話をしました。さらに、４年生以上は「夢をもつ」ために、伝記を読むことを勧めました。

私の話の前に、３人の代表の子供が後期頑張りたいことを発表しました。２年生の松田駿佑さんは、字をもっときれいに書くこと、１人で２００冊読書することを発表しました。４年生の神戸皇雅さんは、もっと文章を読んだり書いたりできるようになること、集中して話を聞くこと、学級全体で市音楽発表会を頑張ることを発表しました。６年生の本田真菜さんは、できたをさらに増やすこと、できることを教え、頼りにされること、得意なことをいかす、伸ばすこと、返事と反応をしっかりすることを発表しました。

まさに、「めあて」をもってくれました。「めあてに向かって努力すること」を決意してくれました。すばらしいです。前期終業式の代表の子供と同じように、この子供たちもまた、全校児童の方を向いて、伝わるように堂々と発表しました。確実に６年生が見本を見せてくれたのが、広がっています。うれしいことです。

今日の校長あい

後期から、**歌浦小学校ホームページに「今日の校長あい」というコーナー**を設けました。

子供への愛、保護者への愛、地域への愛、教職員への愛、学校への愛をもとにして、校長が見た今の子供や学校の様子をリアルタイムに発信するためです。愛とEYE（アイ＝目）を掛けています。郵送費の関係もありまして、月に２回程度に学校だよりの発行を抑えております。しかし月に２回程度の学校だよりでは、今号のように終わって日がたったことをお知らせするということになります。やはりスピードも大切だと思います。

できれば毎週２、３回は発信しようとは思いますが、出張等で学校にいないときもありますので、可能な限り、これはお知らせした方がよいというときに発信しようと思います。多いときは毎日になるかもしれません。

よろしければ、週に１回はアクセスしていただければありがたいです。

歌浦小学校ホームページアドレスは次のようになります。

http://www.city.sasebo.ed.jp/es-utagaura

携帯・スマホ・PCのお気に入りに入れておいていただくと、すぐに見ることができますので、便利です。 よろしくお願いいたします。